



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・名  
 コード番号 4118 URL <https://www.kaneka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR・広報部長 (氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	421,484	△6.8	17,288	△8.5	12,632	△16.6	9,659	4.6
2020年3月期第3四半期	452,467	△3.2	18,891	△29.0	15,139	△34.0	9,232	△37.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 16,505百万円(60.8%) 2020年3月期第3四半期 10,264百万円(△13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	148.08	147.75
2020年3月期第3四半期	141.55	141.28

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	662,769	363,709	51.4
2020年3月期	653,262	354,094	50.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 340,402百万円 2020年3月期 331,483百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	50.00	—		
2021年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	565,000	△6.1	25,000	△3.9	19,000	△5.8	14,000	△0.0	214.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	68,000,000株	2020年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,762,284株	2020年3月期	2,774,049株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	65,232,621株	2020年3月期3Q	65,224,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2021年2月9日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2020年4月～12月）の世界経済は、コロナ禍により大きな打撃を受けました。IMF 1月発表の2020年GDPは中国のみプラス成長で、世界全体では▲3.5%のマイナス成長が予想されます。第1四半期（2020年4月～6月、以下1Q）を底に第2四半期（2020年7月～9月、以下2Q）、第3四半期（2020年10月～12月、以下3Q）は総じて回復基調となりましたが、欧州の3Qが2Q比で再びマイナス成長となるなど、コロナ感染の再拡大が不安材料となっています。

当第3四半期累計の業績は、売上高は4,215億円（前年同期比6.8%減）、営業利益は173億円（前年同期比8.5%減）、経常利益は126億円（前年同期比16.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97億円（前年同期比4.6%増）となりました。

第3四半期 連結業績

（単位：百万円）

	2020年3月期				2021年3月期				増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	148,822	151,032	152,612	452,467	126,644	140,069	154,769	421,484	2,157 (1.4%)	△30,983 (△6.8%)
営業利益	7,004	5,812	6,074	18,891	2,029	5,005	10,253	17,288	4,179 (68.8%)	△1,603 (△8.5%)
経常利益	5,495	4,180	5,464	15,139	823	3,194	8,614	12,632	3,150 (57.7%)	△2,507 (△16.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,491	2,554	3,186	9,232	437	2,039	7,183	9,659	3,996 (125.4%)	427 (4.6%)

当社グループの業績をセグメント別、Q別にまとめると下記のとおりとなります。

セグメント別売上高

（単位：百万円）

	売上高									
	2019年度				2020年度				増減	
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	3Q	3Q累計
Material SU	60,176	60,238	60,246	180,661	48,894	55,587	60,240	164,722	△6 (△0.0%)	△15,939 (△8.8%)
Quality of Life SU	38,468	40,443	39,740	118,652	29,738	33,924	39,159	102,823	△580 (△1.5%)	△15,828 (△13.3%)
Health Care SU	10,949	11,008	11,293	33,251	11,698	12,756	14,068	38,522	2,774 (24.6%)	5,271 (15.9%)
Nutrition SU	38,908	39,101	41,086	119,096	35,938	37,560	41,062	114,561	△24 (△0.1%)	△4,535 (△3.8%)
その他	320	241	243	805	373	241	238	853	△5 (△2.4%)	47 (6.0%)
調整額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	148,822	151,032	152,612	452,467	126,644	140,069	154,769	421,484	2,157 (1.4%)	△30,983 (△6.8%)

セグメント別営業利益

（単位：百万円）

	営業利益									
	2019年度				2020年度				増減	
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	3Q	3Q累計
Material SU	5,590	4,612	4,466	14,669	2,855	4,518	6,465	13,839	1,998 (44.7%)	△830 (△5.7%)
Quality of Life SU	3,728	3,854	3,779	11,363	1,236	2,692	4,439	8,369	659 (17.5%)	△2,994 (△26.3%)
Health Care SU	1,905	2,144	1,998	6,048	2,298	2,672	3,213	8,183	1,214 (60.8%)	2,135 (35.3%)
Nutrition SU	1,200	1,160	1,615	3,976	827	605	1,882	3,314	267 (16.6%)	△661 (△16.6%)
その他	180	106	107	394	248	92	98	439	△9 (△8.7%)	45 (11.4%)
調整額	△5,600	△6,065	△5,893	△17,559	△5,436	△5,576	△5,844	△16,857	48 (-)	701 (-)
計	7,004	5,812	6,074	18,891	2,029	5,005	10,253	17,288	4,179 (68.8%)	△1,603 (△8.5%)

売上高は1Qをボトムに回復し、3Qは海外市場を主体とした販売の回復・伸長により前年同期を上回りました。これに伴い、3Qの営業利益も前年同期比で大幅な増益となりました。コロナ禍において成長機会が拡大しているHealth Care SU (Medical、Pharma) やSupplement、E&I、PVなどの先端事業群が着実に収益を伸ばすとともに、1Qに需要が落ち込んだMaterial SU (Vinyl、MOD) やFiberなどコア事業群の業績も2Q以降は順調に持ち直しており、当社が目指すポートフォリオ変革が着実に進んでいます。

各セグメントの状況は次のとおりです。

#### ① Material Solutions Unit

- PVC：塩ビポリマー輸出やコロナ対応のディスプレイ手袋用途のペーストの販売が好調を継続。3Qは前年同期比で大幅な増益となった。
- MOD：2Qから市場回復の動きが強まり、欧州の建材・DIY用途やアジアの非塩ビ用途（パソコン・家電向け）などで需要が順調に回復・拡大。3Qは前年水準を超える販売となった。
- MS：欧米の建築用途の需要が堅調に推移。市場拡大に注力している中国においても建築用途や工業用途の需要が拡大し、3Qは前年水準を超える販売となった。
- PHBH：大手ブランドホルダーとの共同開発を推進中。量産プラントの建設に向けて市場ニーズに応える加工技術やコストダウンの検討を進めている。

#### ② Quality of Life Solutions Unit

- Foam：スチレン系発泡樹脂及び押出ボードは、国内需要低調のなか、販売基盤を強化しシェアを拡大。発泡ポリオレフィン世界的な自動車生産の回復に伴い需要が回復している。
- PV：国内住宅着工が低迷するなか、住宅向け高効率太陽電池の販売はハウスメーカーでの搭載率アップなどにより着実に増加した。
- E&I：スマホ向けやリモートワーク拡大によるタブレット・ノートPC向けが好調に推移し、ピクシオは過去最高レベルの出荷を継続している。5Gスマホ向け新製品開発も順調に進展し、ポリイミドワニスもスマホ向け有機ELディスプレイの需要増により販売が拡大している。
- Fiber：頭髪分野は1Qのアフリカ諸国のロックダウンによる需要低迷から順調に回復し、3Qは前年を上回る販売となった。パイル、難燃分野はコロナ禍の影響が続き、スローな需要回復となっている。

#### ③ Health Care Solutions Unit

- Medical：カテーテルは、新製品の脳動脈瘤塞栓コイルの国内販売好調と米国での販売開始が収益拡大に寄与。市場評価の高いASO治療用の新血液浄化器も今春に発売予定。
- Pharma：アビガン原薬の供給、KEGTのPCR検査試薬やコロナワクチン中間体の受託製造拡大とバイオ医薬品製造ライン増設の稼働により収益は順調に拡大し、前年同期比で大幅増益。今後もバイオ医薬増設ラインの本格的戦力化やワクチン中間体の供給が収益拡大に寄与する見通し。

#### ④ Nutrition Solutions Unit

- Supplement：コロナ禍を契機とした消費者の「免疫力アップ」への意識の高まりを背景に、還元型QHの販売が欧米で販売増となっている。欧州で好調なAB-Biotics社の乳酸菌製品は米国でも販売を開始した。
- Foods & Agris：製パン・製菓分野の需要は回復基調にあるものの、コロナ禍に伴うインバウンド需要減や外食産業向けの低迷が続いている。スパイス製品は堅調に推移。還元型QHを配合した「わたしのチカラ Q10ヨーグルト」、「パン好きのミルクティー」を本年1月に発売するなど乳製品の品揃えを更に強化していく。

(2) 財政状態に関する説明

当3Q末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加等により前期末に比べて9,507百万円増の662,769百万円となりました。負債は、借入金の減少等により107百万円減の299,060百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により9,614百万円増の363,709百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

➤ 世界経済の見通し

2020年度のコロナ禍の影響は1Qをボトムに、2Qより緩やかに回復に転じ、3Qは世界の各経済圏や産業分野で回復が進みました。IMFは2021年世界GDPが5.5%の成長を遂げると発表しましたが、昨年終盤からの世界的なコロナ感染の再拡大やワクチン普及の遅れにより経済の下振れが懸念され、今後とも情勢を注視する必要があります。

➤ 第4四半期(2021年1月～3月、以下4Q)以降については、コロナ感染による世界経済の回復の遅れ、原油はじめ原材料価格の高騰、円高の進行など不確実な事業環境が続くと思われます。このなかで当社の業績は、事業ポートフォリオ変革が進み、先端事業群であるHealth Careのカテーテルやバイオ医薬品、E&Iのポリイミド製品や光学フィルム等が着実に収益を拡大しています。また、1Qに低迷したMaterialはアジア向け特殊塩ビやMOD、MSなどがグローバルな地産地消型の事業特性を發揮し販売を拡大しています。4Q以降もこの海外市場を柱とした強いモメンタムは続くと思定しています。

➤ R&Bの「選択と集中」や間接部門を含めたDXの推進により、生産性の向上と新たなビジネス価値の創出に取り組み、事業基盤の強靱化を進めています。

➤ 当社グループはコロナ禍への対応として、社員を含めたすべての人々の健康と安全を最優先に考え、業績拡大に取り組んでいます。DNAワクチン中間体やPCR検査試薬などを提供することにより積極的に社会貢献を進めています。

➤ 今後も事業ポートフォリオの変革の実現に向け、先端事業(E&I、PV、Medical、Pharma、Supplement、農業生産支援)、新規事業(PHBH、OLED、再生細胞医療等)に積極的に資源を投入し、新事業、新製品創出に取り組み、中期計画で掲げた目標の達成を目指してまいります。

以上の状況により、2020年8月12日に発表した連結業績予想を修正いたします。

第4四半期の為替レート及び原料価格については、米ドルは105円、ユーロは125円、国産ナフサ価格は38,000円/KLを想定しております。

当期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	560,000	21,000	16,400	10,000	153.31
今回修正予想(B)	565,000	25,000	19,000	14,000	214.62
増減額(B-A)	5,000	4,000	2,600	4,000	
増減率(%)	0.9	19.0	15.9	40.0	
(参考)前期連結実績(2020年3月期)	601,514	26,014	20,166	14,003	214.70

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,748	45,900
受取手形及び売掛金	134,110	138,667
有価証券	190	195
商品及び製品	66,057	59,154
仕掛品	8,727	9,174
原材料及び貯蔵品	42,474	42,547
その他	17,852	16,329
貸倒引当金	△1,303	△1,419
流動資産合計	306,858	310,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,012	89,235
機械装置及び運搬具（純額）	110,073	109,362
その他（純額）	68,970	66,495
有形固定資産合計	263,056	265,093
無形固定資産		
のれん	3,306	2,986
その他	9,874	10,531
無形固定資産合計	13,180	13,517
投資その他の資産		
投資有価証券	48,548	54,305
その他	21,859	19,542
貸倒引当金	△241	△238
投資その他の資産合計	70,166	73,609
固定資産合計	346,403	352,219
資産合計	653,262	662,769



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,509	76,516
短期借入金	88,835	91,603
未払法人税等	2,408	2,006
引当金	107	3
その他	46,739	48,103
流動負債合計	211,599	218,233
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	33,293	26,942
引当金	317	312
退職給付に係る負債	38,308	38,169
その他	5,648	5,403
固定負債合計	87,568	80,826
負債合計	299,167	299,060
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	30,962	31,040
利益剰余金	280,265	283,372
自己株式	△11,583	△11,533
株主資本合計	332,691	335,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,246	18,278
繰延ヘッジ損益	△103	△53
為替換算調整勘定	△7,395	△6,888
退職給付に係る調整累計額	△7,956	△6,861
その他の包括利益累計額合計	△1,208	4,475
新株予約権	482	512
非支配株主持分	22,128	22,794
純資産合計	354,094	363,709
負債純資産合計	653,262	662,769



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	452,467	421,484
売上原価	326,724	301,492
売上総利益	125,743	119,991
販売費及び一般管理費	106,851	102,703
営業利益	18,891	17,288
営業外収益		
受取配当金	1,483	1,287
投資有価証券売却益	400	—
持分法による投資利益	117	81
固定資産売却益	315	—
その他	475	588
営業外収益合計	2,793	1,957
営業外費用		
支払利息	1,317	985
固定資産除却損	1,379	1,557
為替差損	650	601
その他	3,198	3,467
営業外費用合計	6,545	6,612
経常利益	15,139	12,632
特別利益		
受取損害賠償金	—	1,624
特別利益合計	—	1,624
特別損失		
訴訟関連費用	864	233
特別損失合計	864	233
税金等調整前四半期純利益	14,275	14,023
法人税、住民税及び事業税	3,257	3,495
法人税等調整額	718	△80
法人税等合計	3,976	3,414
四半期純利益	10,299	10,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,066	949
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,232	9,659

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,299	10,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,292	4,058
繰延ヘッジ損益	5	50
為替換算調整勘定	△1,932	679
退職給付に係る調整額	598	1,099
持分法適用会社に対する持分相当額	1	9
その他の包括利益合計	△35	5,896
四半期包括利益	10,264	16,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,284	15,343
非支配株主に係る四半期包括利益	979	1,162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	180,661	118,652	33,251	119,096	451,662	805	452,467	—	452,467
セグメント間の 内部売上高又は振替高	773	15	—	31	820	822	1,643	△1,643	—
計	181,435	118,667	33,251	119,128	452,482	1,628	454,111	△1,643	452,467
セグメント利益	14,669	11,363	6,048	3,976	36,056	394	36,451	△17,559	18,891

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	36,056
「その他」の区分の利益	394
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△17,569
その他の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	18,891

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	164,722	102,823	38,522	114,561	420,630	853	421,484	—	421,484
セグメント間の 内部売上高又は振替高	576	21	—	27	625	805	1,431	△1,431	—
計	165,298	102,845	38,522	114,589	421,256	1,659	422,915	△1,431	421,484
セグメント利益	13,839	8,369	8,183	3,314	33,706	439	34,146	△16,857	17,288

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,706
「その他」の区分の利益	439
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△16,885
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業利益	17,288

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。